

「臍臓」投稿規定

- 1) 本誌に投稿される論文は、臍臓学の発展に寄与するもので、その内容を他誌に投稿中または発表していないものに限る。
- 2) 原著および症例報告の形式は、論文題名、著者名、所属、日本語要旨、5語以内の索引用語、本文、文献、英文要旨(題名、著者名、所属名、英語のキーワード5語以内を含む)および図、表、写真とする。
- 3) 論文の作成にあたっては、個人情報保護に十分配慮すること。
- 4) 用語について：本文および要旨の外国語名は原語で、薬品名は一般名で記載する。論文中にしばしば繰り返される用語は略語を用いてもかまわないが、初出の際には省略してはならない。ただし、慣用されているものは除く。度量衡はCGS単位に限る。
- 5) 文献の記載方法：
 - a) 文献は、本文中に引用された順序に従って連続番号をつけその順序で記載する。
 - b) 著者名は6名までは明記、7名以上の場合には、最初の3名を記載し、それ以上は他または et al とする。
 - c) 誌名略記は医学中央雑誌刊行会、医学中央雑誌収載誌目録略名表および Index Medicus に準ずる。
 - d) 文献記載の例
 - イ. 雑 誌：引用番号) 著者名. 題名. 略誌名 西暦年号；巻：頁-頁。
 (例) 1) 北川元二, 成瀬 達, 石黒 洋, 他. 重症急性膵炎の初期治療の実態. 臍臓 1999；14：463-71.
 2) Lucas CE, McIntosh B, Paley D, Ledgerwood AM, Vlahos A. Surgical decompression of ductal obstruction in patients with chronic pancreatitis. Surgery 1999; 126: 490-7.
 - ロ. 単行本：引用番号) 著者名. (論文名). 書名. (巻), (版), 発行地：発行所, 西暦年号：頁-頁。
 (例) 1) 三宅 博. 胆石症. 東京：金原出版, 1970.
 2) 標葉隆三郎. ステロイド療法. 小川道雄, 斉藤英昭編. 臨床侵襲学. 東京：へるす出版, 1998：531-43.
 3) Sherlock S, Dooley J. Disease of the liver and biliary system. 10th ed. Oxford: Blackwell Science, 1997.
 4) Whittle BJR. Nitric oxide in gastrointestinal physiology and pathology. In: Johnson LR, ed. Physiology of the gastrointestinal tract. Vol 1, 3rd ed. New York: Raven Press, 1994: 267-94.
- 6) 投稿要領について
 - a) 論文の投稿は、電子投稿システム「ScholarOne Manuscripts™」で行う。論文は、本文、文献、英文要旨、図、表についてそれぞれファイルを分けて作成し、投稿ウェブサイトからアップロードする。必ず投稿前にファイル内の文字化け、画像の鮮明度などを確認する。
投稿ウェブサイト：<http://www.suizou.org/>
(日本臍臓学会 WEB サイト内リンクより移動可)
 - b) 論文原稿：原稿は標準的なフォント (MS 明朝, MS ゴシックなど) を用いた Microsoft 社の Word での作成を推奨する。横書きとし、投稿形式を明記する。なお、行間に余裕を持たせ、文字は 12 ポイント程度とする。表紙を 1 ページとして通しページとする。
 - c) 図・写真：DOC (X), XLS (X), PPT, JPG, TIFF, GIF, AI, EPS および PSD フォーマットのオリジナルファイルをアップロードする。解像度は 300dpi 以上とし、そのまま印刷可能な明瞭なものとする。また、希望サイズがあれば明記する。図の説明は別紙に記入する。図は原則として英語で作成とするが、図表の説明は日本語、英語を問わない。
→オンライン・ジャーナルにおける図の掲載について：本誌掲載論文はオンライン・ジャーナルにも掲載される。通常は印刷物と同様であるが、モノクロ印刷となった図をカラーに変更してオンライン・ジャーナルに掲載することができる。カラー化手数料 (カラー化する画像の数×¥500) は著者が負担する。オンライン・ジャーナル用にカラー掲載を希望する場合は、別途カラー写真を添付する。
 - d) 表：標準的なフォント (MS 明朝, MS ゴシックなど) を用いた Microsoft 社の Word または Excel での作成を推奨する。表には番号、タイトル、脚注を含める。表の説明は日本語、英語を問わない。
 - e) 英文要旨はタイトル、著者名、所属は含めずに 200 語以内。
 - f) 表紙には投稿形式、論文題名、著者名、所属施設名、索引用語、連絡先を記入し、2 ページ目に日本語要旨を記入する。本文、文献、英文要旨、図、表の説明は、それぞれ用紙を別にする。なお、筆

頭著者、責任著者のメールアドレスを記載する。

- g) ファイル名：アップロードファイルは、次のように半角英数字を用いて名前を付ける（拡張子は例示）。

論文原稿：MainDocument.doc

図：Fig1.jpg Fig2.jpg Fig3.jpg

表：Table1.xls Table2.xls Table3.xls

- h) ファイルサイズ：アップロードするファイルサイズは、すべてのファイルの合計で20MBまでとする。

- i) 著者校正は初校1回のみとし、返送期日は厳守されたい。

- j) 論文の枚数の制限、その他、主な規定を次に示す。

	本文	要旨	索引用語(キーワード)	図・表・写真	文献	備考
原著	13枚以内	日本語400字以内 英訳200語以内	日本語、英語、 各5語以内	合計15点以内	30以内	刷り上がり 10頁程度
症例報告	8枚以内	同上	同上	合計10点以内	同上	刷り上がり 7頁程度

- 7) 掲載料金は無料とする。ただし、別刷は実費とし、料金徴収後に送付する。希望別刷数は50部単位にて校正刷に明記のこと。
- 8) 投稿論文の採否は編集委員会の審査により決定する。
- 9) 依頼論文の著者数：総説（特集企画を含む）については原則3名以内とする。
- 10) 誓約書・著作権同意書は、論文投稿時に投稿ウェブサイトからアップロードする。ただし、同時にアップロードできない場合は編集部あてに送付またはFAXされたい。
- 11) 著作権：本誌に掲載された論文の著作権は本学会に帰属し、他誌などに転載する場合には日本睨臓学会の同意を必要とする。著作権は、電子メディア化する権利、複製権、二次的著作物の利用権（インターネットでの公開等）を含む。なお、論文はインターネット上でも公開する。
- 12) 利益相反：責任著者は、論文の内容に関する利益相反（COI）の著者全員の状況を、様式2の利益相反自己申告書に記載して、署名捺印し、投稿時に編集事務局へ原本を郵送するものとする。さらに、投稿論文本文の末尾に利益相反の有無を記載し、利益相反がある場合には対象の著者名と企業名を記載すること。
- 13) 臨床研究倫理：ヒトを対象とする臨床研究の場合は、研究計画が施設内倫理委員会により承認されていることを、投稿論文本文の末尾の利益相反の記載に引き続いて明記すること。ただし、1例のみの報告では必要ないが、未承認の薬剤投与や、未承認の医療行為が含まれている場合には1例報告であっても施設内倫理委員会により承認されていることを記載すること。
- 14) 他の文献から文章・図・表などを転載する場合は、あらかじめ著作権者の了解を得る。それらには出所〔著者名：書名、雑誌名、巻数：頁、発行年〕を明示する。
- 15) ガイドライン・コンセンサスについて
ガイドラインおよびコンセンサスはいずれも原著の扱いとする。ただし学会などの公的機関や厚生労働省の研究事業を背景として投稿されたものは学会奨励賞の授与対象とはならない。
- 16) 追悼記事について
理事長および大会会長の経験者が物故した場合、原則として追悼記事を掲載するが、それ以外の物故会員の追悼記事を掲載希望する場合は日本睨臓学会事務局にその要望を提出する。掲載は理事会の承認により確定する。

附則 この規定は、平成29年7月13日から施行する。

お問い合わせ：

日本睨臓学会編集委員会事務局
〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-1
自治医科大学消化器・一般外科学内
TEL：0285-58-7371

FAX : 0285-44-3234

E-mail : suizo@jichi.ac.jp

電子投稿システムに関するお問い合わせ :

株式会社杏林舎 (Thomson Reuters 社 ScholarOne™ の国内代理店) (オンライン投稿・査読システムの操作に関する技術的なサポート)

E-mail : s1-support@kyorin.co.jp

TEL : 03-3910-4517

電話受付時間 : 平日 9 時から 12 時, 13 時から 17 時まで

日本睥臓学会雑誌
誓約書・著作権同意書

論文名： _____

上記投稿論文は、その内容が過去に他誌に掲載あるいは現在も掲載が予定されていない（投稿中のものを含む）ことを誓約致します。また、上記投稿論文が受理された際、その著作権 (copyright) を日本睥臓学会に譲渡することを同意致します。

著者名（共著者を含む全員の署名捺印：10名以上の場合は複写のこと）

1. _____ (印) 2. _____ (印) 3. _____ (印)
4. _____ (印) 5. _____ (印) 6. _____ (印)
7. _____ (印) 8. _____ (印) 9. _____ (印)

日本臍臓学会雑誌
利益相反自己申告書

論文名 : _____

著者全員について、投稿時から遡って過去 1 年間以内での上記投稿論文に関する企業・組織または団体との利益相反状態を記載してください。

項目	該当の状況	該当する著者名	企業又は団体名
①報酬 1つの企業・組織や団体の役員，顧問職，社員報酬額が年間 100 万円以上のものを記載	有・無		
②株式の利益 1つの企業から 100 万円以上，または該当全株式の 5% 以上保有について記載	有・無		
③特許権使用料 1つにつき年間 100 万円以上について記載	有・無		
④講演料 1つの企業・団体からの年間合計 50 万円以上について記載	有・無		
⑤原稿料 1つの企業・団体から年間合計 50 万円以上について記載	有・無		

様式 2

⑥ 治験（臨床研究）や研究費など 1つの企業・団体から治験（臨床研究）費や研究費を所属部局（講座・分野あるいは研究室の代表者）に支払われた年間総額が100万円以上について記載	有・無		
⑦ 奨学寄附金 1つの企業・団体から奨学寄附金を所属部局（講座・分野あるいは研究室の代表者）に支払われた年間総額が100万円以上について記載 ※1つの企業・団体から奨学寄附金が機関の長（学長か病院長）を経由して所属部局あるいは研究室へ支払われた場合には年間総額が200万円以上について記載	有・無		
⑧ 企業等が提供する寄付講座 企業等からの寄付講座に所属している場合に記載	有・無		
⑨ 研究，教育，診療とは無関係な旅行，贈答品など 1つの企業・団体から年間5万円以上のものを記載	有・無		
⑩ 寄付金 1つの企業・団体から寄付金がNPOなどの公益法人を介しての資金援助の年間総額が200万円以上について記載	有・無		

本利益相反自己申告書は論文掲載後2年間保管されますが，論文が不採用の場合は破棄され返却されません。

上記に記しました利益相反自己申告書の内容に相違がないことを誓約いたします。

申告日： 年 月 日

Corresponding author（自署）： _____ (印)